



学校だより

令和4年1月12日 上田市立第二中学校 No.9

3学期がスタートしました

年末年始で新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株の感染が全国的に拡大し、県内でもこれまでにないスピードで新規感染者が増加しており、今後の感染拡大が心配される状況での3学期スタートとなりました。昇降口での検温、消毒を徹底し、始業式は放送での実施となりました。

3学期は1年間のまとめの学期であるとともに、3年生にとっては大切な受験シーズンを迎えることとなります。再度、基本的な感染症対策を徹底し、感染警戒レベルに応じた対応を行いながら、3学期の教育活動を進めてまいりたいと考えております。本年も昨年と同様に本校教育活動へのご理解とご支援のほど、よろしくお願いいたします。

子どもたちに豊かな心を 正木直太郎先生の生き方 ～校長講話より～

明治維新後、初めて外国との戦争となった日清戦争に日本国中が酔いしれます。それは学校にも影響を与え、音楽の時間に軍歌を唱歌として子どもたちが歌っていました。この風潮に疑問を投げかける人がいました。「小学校の音楽の教育は大切である。敵愾心をあおるような歌ばかりでいいのだろうか。各国がそれぞれの国としての特徴をもっている。その違いを学ぶことが大切なのではないか」この考えをもとに長野県では、明治32年「小学校唱歌教授細目」を発表します。感情の豊かな子どもたちに、自然の美しさや優しさを感じ取れるような唱歌をたくさん歌ってほしい。そんな思いが溢れています。この疑問を投げかけた人。それが私たち明倫堂の先輩の正木直太郎先生です。

正木直太郎先生は、1856年上田藩士として、木町に生まれます。17歳の時、松平学校で先生となります。しかし、力をつけるために東京に勉強に出かけ、東京師範学校(現在の筑波大学)に入学し、教育の道に進みます。27歳の時に卒業。小県中学校(現在の上田高校)に先生として戻ります。この当時音楽という教科はなかったため、その教育内容も方法も全く分からない状態でした。そこで国は明治8年、長野県出身の伊沢修二先生をアメリカに留学させ、帰国を待って東京音楽学校の校長に就任させて日本の音楽教育をスタートさせます。その一方、長野県の音楽教育は先進的なものでした。伊沢先生の前に、長野県師範学校校長の能勢栄先生が音楽教育を始めます。長野県中の先生方を師範学校に集め、能勢先生自身が留学中に買ってきたバイオリンを弾きながら音楽の指導を始めます。上田では、いち早く能勢先生の教えを受け継ぎます。講習の4ヶ月後に小県中学校に、唱歌伝習所を設置し、上小管内の音楽の先生方を集めて、音楽の教育の仕方や楽器の演奏法など学ぶ場所を作りました。その運営の中心になったのが、正木先生でした。全国的にみても音楽を教育する県はまだほとんどなかった時代でした。先生がバイオリンを弾き、子どもたちがそれに合わせて歌を歌う、そんな学校が長野県の各地にあったことを考えるととても驚きです。そんな活動の中心にいたのが正木先生でした。2年後、正木先生は校長に抜擢されます。更に2年後、長野県尋常師範学校(現在の信州大学教育学部)の先生となります。正木先生は、発行されたばかりのドイツ語の教育書を翻訳して、授業をするなど、その学識の高さと柔らかい物腰が生徒からの信頼を集めていたそうです。

明治31年42歳の時、師範学校の校長となった正木先生は、長野県の地理や歴史を取り入れた唱歌を作り、県下の子どもたちに歌わせたいという思いを強くもつようになります。その思いを当時師範学校の先生だった浅井烈先生、内田慶三先生に話します。そして翌年、出来上がったのが『信濃の国』です。この『信濃の国』は、女子師範学校の運動会で踊りと共に発表され、そこで学んだ学生さんが県下各地に先生として赴き紹介することによって、全県に広がり、県歌として私たちが今でも歌えるものとなっています。

その後、埼玉師範学校・香川師範学校校長・中国の高等師範学校に転勤し、それぞれの地で教育に携わる若い人を育てます。56歳で帰国し、小諸小学校の校長に就任され、13年間「日本の小諸小学校」を目指して力を尽くされ、小諸市の教育の礎を作られました。

昭和9年79歳の時旅先で流行性脳炎にかかりお亡くなりになります。昭和12年、正木先生の功績をたたえて、現在の信州大学教育学部の入口に碑が立てられました。今も先生を目指す学生の皆さんを正木先生の石碑が見守り、エールを送っています。

教育という分野で子どもたちに豊かな心を育てたいという信念をもち、一途にその道を歩まれた正木先生。その母校である私たち第二中学校が「合唱」を大切にしているのもなにかつながりがあるような気がしてなりません。

前期生徒会活動のまとめ 生徒総会

12月17日に、令和3年度前期生徒会の締めくくりとなる生徒総会が行われました。上田圏域の感染警戒レベルが1の状況でしたので、久しぶりに全校が体育館に集まることができました。コロナ禍で3年生を中心に様々な工夫をしながら進めてきた生徒会活動について、どの学年からもさらによい活動に



していく視点での意見や、課題への対策についての質問が出され、全校が一つ一つの活動に真剣に取り組んできたことが伝わってきました。また、目の前で見られる質問に、迷うことなく堂々と答える委員長の姿がとても頼もしく感じました。これまで誇りをもち取り組んだ3年生の生徒会への思いを引き継いだ1・2年生が、これからどのような生徒会を創り上げてくれるか楽しみです。



令和4年度の新役員の紹介も行われました

お願い

- ・感染力が強いとされるオミクロン株の感染拡大が心配な状況となっています。これまでと同様、ご家庭での感染予防を徹底するとともに、登校前の健康観察を丁寧に行い、本人やご家族に発熱等の風邪症状がみられる場合は登校をお控えいただきますよう、今後ともご協力をお願いいたします。また、お子さん又はご家族の方が濃厚接触者や接触者となった場合や、PCR検査を受けることになった場合には、速やかに学校へ連絡をいただきますようお願いいたします。
- ・学校敷地内への車の乗り入れにつきまして、十分ご配慮いただきますようお願いいたします。特に、冬期は積雪や路面凍結等で大変危険な状況ですので、出入り口の安全確認、敷地内の徐行など十分ご注意ください。また、敷地内のカラーコーン設置場所には駐車をご遠慮いただきますよう重ねてお願いいたします。

<今後の予定>

※今後、「新型コロナウイルス感染予防」に伴い、日程や内容が変更される可能性もあります。変更の場合はその都度ご連絡しますので何とぞご了承ください。

- 1月17日(月)～21日(金) 学校へ行こう週間 ※感染警戒レベル1～3の場合実施
- 24日(月) 中学校説明会 放課後学習
- 31日(月) 授業参観 *PTA 会合のみ実施
- 2月 1日(火)～3日(木) 公立前期志願受付
- 8日(火) 公立前期選抜試験①
- 9日(水) 公立前期選抜試験②
- 10日(木) 1, 2年3学期期末テスト
- 16日(水) 公立前期選抜合格者発表
- 17日(木) 地区生徒会④
- 18日(金) PTA 総委員会・評議員会
- 22日(火) 公立後期志願受付～25日(金)

スクールカウンセラー来校日

<1月・2月>

1月14日(金)・27日(木)

2月 4日(金)・22日(火)

時間:10:50～16:00

*相談の希望(生徒・保護者)がありましたら、担任または教頭までお申し出ください。